



# 異世界の 花嫁の

# 嫁の

宮下 圭ツネ

*Mitsune Miyashita*

*World*

Please don't use  
without permission



OniBoku KANOKU COMICS



*Please don't use  
without permission  
OniBoku*



異世界の花嫁の

宮下 幸ツネ

*Mitsune Miyashita*

*Please don't use  
without permission  
OniBoku*



# The Bride Of Another World

## CONTENTS

- |                |     |
|----------------|-----|
| 異世界の花嫁         | 3   |
| 見つめる先に         | 31  |
| ぷるぷるふるえるフィーリング | 61  |
| 赤色の縛り          | 91  |
| ぼくらの青春         | 119 |
| キスの演習          | 145 |
| おまけまんが         | 171 |



いせかい  
**異世界の花嫁**  
はなよめ

*Please don't use  
without permission  
OniBoku*



殺せ

見つけ出して

どこに行った

捜し出せ

ポン



まずい…  
このままじゃ  
終わっちまう…

はーっ

はあ

はーっ

一部だけでも  
逃げ…ないと

くそ!

はーっ

はあ

はっ

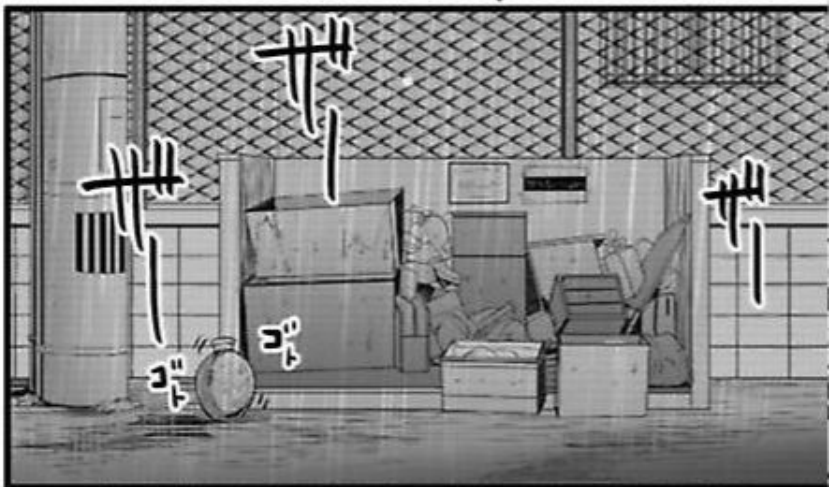
ここじゃない  
どこかに…

サア

サア

サア

サア



10年前俺は  
ヒトのガキに  
救われた

タコ？

まさに運命の  
出逢い

すっか

んーたまらんねえ  
すげえいい匂いしてる

大人になったんだな

約束通り  
迎えに行くぜ  
待ってるよ

ソラ  
♥



ああそうか今日は  
僕の誕生日か…

ずっと誕生日なんて  
祝っていないから  
忘れてたよー

ドサ

カキカキ

お酒解禁だね

ふふ  
20才になっちゃった

一人だけになって  
えーっと…10年  
なるのかな？

おめでと僕！  
いっぱい飲んで  
酔っぱらってやるー

じわ

コキユ  
コキユ  
コキユ



僕一人で  
頑張って生きて  
きたんだよお

おーい

ソラー

もうすぐ迎えに  
行くぜ☆



ん



僕お酒  
弱いのかなあ

そうかもなあ  
何事も初めては  
慎重にいかないと



あれ…  
寝てた？

変な夢  
見ちゃったよ

うー  
気持ち悪い





お前が名付けてくれただろ？

今は人間の姿に化けてるだけ

ハチだよ〜



あれ？人が見える…これが酒酔い？

ちがうちがうちやんというよお俺は—

ゴシゴシ



いやあ大人になったなあすっげ〜いい匂いっさすが俺の嫁!!

さあ行こーぜ!

わっ



ハチ…？

君はハチねっ



ええ!!  
ハチ!?



おっ…  
覚えてないっ

知らないよっ



ちよつと…  
何!?

何って約束したろ

迎えに  
来るって

本当かあ?

ほっ本当  
だよ



うっ



ジ



たった10年しか  
経ってないのに  
忘れるかこんな  
大事な事…

ミミミ

10年も経ったら  
忘れちゃうよ  
細かい事は

人間なんでもんっ







惚れ直した？

かつこいいだろ俺っ



えっ



俺と来れば  
働かなくていいし

不自由させないぜ？

ソラのために  
向こうの環境  
整えてあるしねっ



あらかわい  
らしい態度

ガンガン  
押ししてこ♥



しっ知らない  
バカじゃない！



モ一っ  
勝手に入って  
来ないでよっ

飯の用意  
してあるぜ

う…  
ありがと



ヒラヒラ

おかえりー





*Please don't use  
without permission  
QniBoku*



あれ？

#  
ニ

キ



はあ…  
やばいな  
人体

なんだよ  
これ

ドゥドゥドゥ  
ドゥ



あーいい匂い

触りたい…

ソラあ

ん

キ

ん



なにっ

えっ!?

ごっごめん

好きだぜ  
ソラ

する



やだっ

僕はっ

好きじゃ  
ないからっ!



だって  
僕…  
男だし



え



俺の事…  
嫌だった？



本当はずっと  
待ってたんだでも  
一緒にいちゃダメだって  
思うんだもん

男なのに嫁  
なんておかしいし…  
僕は人間だし



嫌だ…

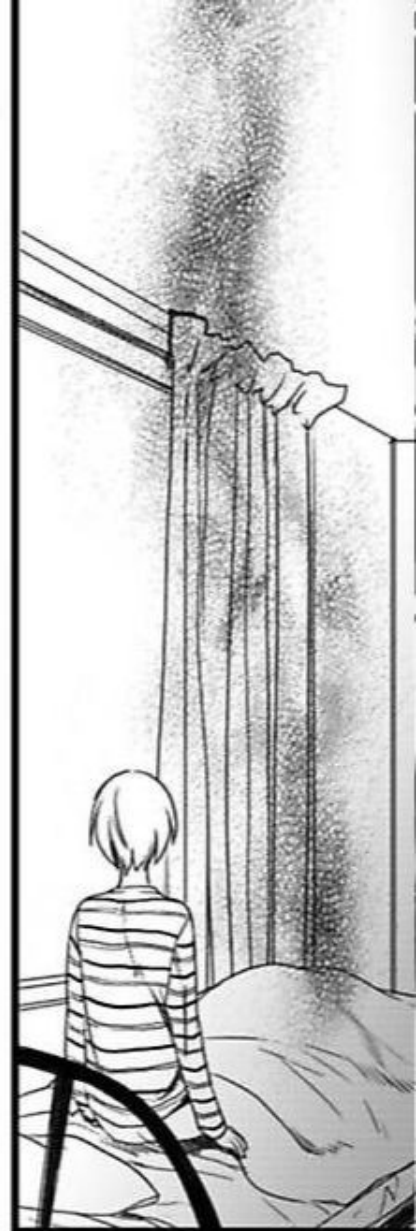
うん…



ごめんな…



…そうか



# ズルッ



助けて

しゅる

えっ

花嫁のおいだ

ええっ

うあ...

なに

うそっ

ちよっと...  
やだっ



ごめんな ソラ

やっぱり一人じゃ  
帰れねえわ



俺の嫁に手  
出してんじゃねえよ

ザコが



ハチ…



ハチ……っ

好きだよっ  
大好きっ

とっ

ふい  
わん

俺のものに  
なるんだ

今からソラは  
この世界から  
消えて

カ











こっちにも人間  
何人かいるからさ  
友達になるといいよ

うん…



辛くなかった？

ん…



末長く  
よろしくなつ  
ソラ

END



見つめる先に  
*ahead of your eyes*

*Please don't use  
without permission  
OniBoku*



おもしろ  
大本君が好きだ

俺は隣の席の

*Please don't miss  
without permission  
OniBoku*

綺麗なもの  
好きなものは  
見つめていたいと  
思うだろう

だから隙をみて  
彼の事をこっそり  
見つめては甘い想いを  
噛みしめているのだ

やばい

気づいてないと  
思ってるんだ  
もんなー

そう…

いや、今  
見てたよね

見てないけど

ときた  
時田くん？  
なに？

なにって？

悟られない  
ように  
しなくては

とんとん



ははは

異形出現？  
なにそれ  
エイプリルフール  
のやつ？

都市伝説じゃ  
ねーの？

違う違う  
これ本物だって

ん？  
なんの話だ

ちげーよ

誰だそいつらは  
近づくなよな



だって俺  
この間……

に



今のアウトだった？  
いや大丈夫だろ

っていうか怪物  
ってなんだ？

ああ  
あれか？



うわっ

最近各地で目撃  
されている怪現象

見たこともない生物が  
出たとか新種の  
エイリアン? とか

こんなの  
承認されたい  
ガキや暇人の  
捏造とか

オカルトや  
都市伝説の  
類のやつでしょ

こつこのの  
好きなのかー

ふっ

大本もかわいい  
ところあるん  
だなあ

あれ:  
大本休みか?  
何か聞いている

さあー

風邪じゃ  
ないですかー

あつもしかしたら  
攫さらわれたんじゃね?

は? なつ  
なんだそれは

ほらつ最近  
噂じゃないですかー  
怪物目撃つてやつ  
あいつ夢中だったから

あくなんだよ  
お前たちいくつだ  
小学生じゃないんだぞ





そうかそれなら  
よかったけど



はあ  
ちょっと疲れた  
だけー

ああっそうだった  
休んだんだー  
大丈夫だよー



そう…？



なんでもないよー

ああっ



あれ…  
その痕



なんだろ  
縛られた痕？  
…まさかな

ねえー  
時田くんー

俺さあー



一線を越えちゃった  
かもしれない



ふふんっ  
気になる？  
知りたい？

は？  
別にー

それから大本君は  
どこがおかしく  
なっていた



え…

どういう…

ボーっとしてる  
時が多くなったし  
時々学校も休む  
ようになった

それになんていうか  
俺が大本君を特別視  
しているからだけじゃ  
ないと思うんだけど

なあ、  
大本ってさあ  
最近…

なんかエロいよな

それだ！

そうなんだよ  
なんか色っぽい  
んだよな

しかし  
俺だけじゃ  
なくて他の  
やつらにも  
性的に映って  
いるなんて

まずいぞ大本  
一体何が…？

ドキ  
ドキ

ドキ

ドキ







あな？

そうっ異界に  
通じる穴だよ  
発見したんだっ

発見!?

このアパートでね！



あっちの住人っていつでも  
俺達と思考は  
それほど変わらないし  
理性的だから  
安心して

安心してなにを

紹介するねっ



は？  
いかいって？

え！  
ここ入っていいの!!  
怒られない!!

へーき  
へーき



友達のカイロさん  
です！

うによ

うによ

うに

うによ



えっ…は？

なっ  
なんだよこれ  
触手？

に…  
逃げなきゃ  
大本…

ちよっ落ち着いてよ  
友達だって  
言ったでしょっ

ほら  
危険ないよ

何週間か前に  
会ってからずっと  
仲良くしてるんだから

そうだぞ  
仲良しだ

しゅる

しゅる

え!? 今誰か  
喋った?  
他に誰かいるの?

ワタシだよー



んんんん?  
んんんん?

だから言っただろ  
俺達と変わらないって

ハハハ



今はこちら側に  
慣れていないから  
こんな姿だけど

向こうでは  
君らとさほど  
変わらんよ

えっそうなの  
なんだー  
安心~~~~っ

とは  
ならない  
からな!



ふふっ  
打ち解けてる  
みたいでよかった

いやっ! どっかが?  
まあもう警戒心  
なくなってるけどな

そうだぞお 私は  
オオモトの悩みを  
聞いてあげる  
よい友達なんだ

悩み?

あっ  
ちよっとカイロさん



いつも自分を  
見つめてくる  
人物がいるんだけど

問いただしでも  
認めなくて

最初は嫌だったけど  
だんだん見られている  
のが嬉しくなって

そいつが気になり  
出して好きに  
なったのかもー  
っていう話を  
聞いてるのだよ

うーん

え

それって

もう…なんで  
言っちゃうかな

ハハハ

お前が連れて  
来なければ私は  
話さなかったからな

ははあー  
そうかなるほど

見せに来たのか

だって時田くんが  
俺を心配って  
いうから

そっそうだよ  
最近変だった  
から原因を  
知りたくて

えっちよ…  
違うからっ

しゅる

しゅ

しゅる

しゅるる

Please don't use  
without permission

OniBoku



だが実践した方がわかりやすいだろう

おいっ！安全じゃなかったのかよ！



もちろん安全だよいつもこうして慰めてやってるんだ

今日はそういうのじゃないってば

なっ

うにょ だめ



あっちよっとお

なぐさめって…

快樂を得る方法は私たちとさほど変わりはないようだ

ただ私の体液には催淫効果があるようだけどね

うにょ



時田…くん



いつもより  
感度がいいな



はあ  
とき…た、くん  
はあ

君に見られると  
興奮しちゃうよ



しっかりと  
見ててやれよ

ズッ  
ズッ





君は見るのが  
好きなんだろう

だったらもっと  
近づいてじっくり  
見ないともった  
ないぞ









おおもとお

あッ

入った!

ヒク

ヒク



そんな

いきなり

俺じゃなっ  
触手がっ  
勝手にっ

動くなあ

しゅっしゅっしゅっ



だめっそこ  
当たると  
ビリビリって

するからあ!



はあっ  
おおもと...  
好きだ はっ

は...今?  
おっ...  
俺も好き!

出る...  
出すよ

やっ  
中ダメ...あ



はー  
ムムム...

はっ

はー





あーそうしたら  
これから二人か

恥ずかしい？

いやいや  
甘くみんなよ

あっ  
すみません

いえいえ〜

お二人に幸あれ！♥

あれ…？  
今のさあー

なに？

んーいや  
なんでもない

END

Please don't use  
without permission  
OniBoku

The page features a decorative border of light gray, stylized floral scrollwork. The design consists of symmetrical, swirling patterns that resemble leaves and vines, framing the central text. The scrollwork is positioned in the upper and lower quadrants of the page, creating a delicate, ornate frame.

The Bride Of  
Another World







あはい  
ありますけど  
なんですか？

あー…  
女の子ですかあ？

俺、今はそういう  
のはいいかなって

よかったー  
ちよっと紹介したい人  
がいるんだけど  
大丈夫かな？  
って思っ



ねえ 矢田<sup>やだ</sup>くん  
今日時間ある？



はあ…

いやいや恋愛に  
直結するようなら  
ものじゃないから  
ねっ？

世話になってる  
先輩の頼みだから  
断れなかったけど…



紹介するなっ  
こちらモルンさん



モルンです  
よろしく

おはよう



なんだよこれ  
よろしく...

怖え〜よー!

おはよう



こっちに来たばかり  
らしいからさ  
仲良くしてあげてよ

は、初めまして  
矢田康緒です



俺の彼女いるじゃん  
それがさあ

知り合いがこっち  
来てるんだけど

バイトの子紹介  
してくれない？

ってさ



あゝごめん  
最初に言っとくと  
来てくれない  
かと思って

ちよつちよつと先輩  
どういうことですか！  
なんですがあれ！



だって矢田を  
名指して頼まれ  
たんだもん

は？だからって  
なんで俺が…！



一目惚れしたん  
だってさ

は？

異形と呼ばれる  
生物が別世界から  
現れて数十年

この世界と人類の  
在り方はすっかり  
変わってしまった

異界へと繋がる  
穴は現在も進行形で  
拡大増幅

異形は次々と  
地上に出現している

# 路地裏の 穴!?!

初期の頃は大きな  
騒ぎになってたけど  
彼らは社会的で  
穏やかな生物だと  
わかり：

観光です

今では彼らは  
日常に溶け込んでいる  
人類は異形を  
受け入れたのだ

でも俺は苦手  
なんだよねえ  
だって怖いじゃん

純粋に恐怖しちゃうん  
だもんあの姿に

はあ…

一目惚れって  
そもそものなに？  
気持ち悪いなあ







すごい  
疲れた

はあ

ああ怖かった  
もうやだよー



な...!!

あーあーあー

Please don't use  
without permission  
OniBoku







じゃあもう驚かさな  
いで勝手に家に入  
って来ないで  
急に目の前に  
現れないで

微妙な距離感から  
ただ見てるだけとか  
やめてそれが  
できるっていうなら

仲良くしよう



わかった

はああ



ではさっそく  
康緒の休みの日に  
出かけよう

あーはいはい  
いいですよー



あっ今キラキラした

悪い奴じゃ  
ないんだろうな  
不気味だけど…



ぜんぜんー  
そういう格好好きな  
人がいるだけだよ  
スチームパンクっぽい  
っというかさあ  
しらないけどっ

ほほほ  
妬けるか？

かっこいいよね

モルンさん  
かっこいいって

ん？



わっ

康緒!

なっなに

あ

ガ

ゴ



シャー



あのねえ  
今全然危なく  
なかったよね?

よかった  
危なかった  
怪我はないか?

スイ



あのさ



だっていつも  
どこかで身を潜めて  
朝になったら俺に  
会いに来てるんでしょ

今日…  
家に来る？

えっ！  
いいのか？



もしかして

触りたかった  
だけじゃないよね？

はは、まさか



友達がそんな  
生活してたら  
可哀想だし

おおっ

おいで！  
晩酌付き合っ  
てもらうからね



そっちの世界では  
なに食べたり  
してるの？  
どんなところ？

ああ  
こことあまり  
変わらないよ

こっちのものを  
食ったら  
帰れなく  
なるからな

ぷんぷん

食べたり飲んだり  
できないの  
可哀想だねえ  
おいしいのにー



んーまあ  
あまりないかな  
でもモルンさん  
自身は別

興味があるのか？



ああ…  
まあいいが

ねえその布の中  
どうなってるの？  
見てもいいかな

モルンさんには  
興味があるよ



うっわあなにこれぶるぶるしてんじゃん

大丈夫なの？  
よく動いてるねえ

ふっ

あれ  
どうしたの？



ぶるぶるぶるん



直に触れると  
変な気分になる  
と思ってる

あああ

そうか  
ごめんね



康緒…



モルツさん達は  
性別とか関係ない  
かもだけど  
俺は…  
俺も…

改めて意識して  
みると変な気分にな  
るな…って  
何言ってるんだ俺

俺はお前と

シテみたい

…うん？

セックスしてみたい

うん

せつかく部屋に  
呼んでもらえたんだ

でも無理じゃないかな  
わからないよ

なぜだ？

だってそんな  
簡単なものじゃ  
ないんだって



少しでいいんだが

はあ？ あっ

少しって！ ちよつとお  
量じゃないからね！

うわっ





ふーっ

ふーっ

う…んん

ふうう

しゅる

しゅる

しゅる



暴れないでくれよ

暴れたくても  
動けないって

ああ…もう  
知らない

ここは気持ちいいか？

全然気持ちよく  
ないって…

えっうわっ  
ちよっと、まじで…

それはよくないな

んーっ

しゅる

しゅる

しゅる

うんよ



ここなんだろう  
気持ちいいのは

えっちよつと  
あっ……!

ぽく

あっ

ちゅる

うらうら

ん

ちゅる

んああっ

びく



なんだよこれえ

あ

包み込まれて  
収縮してるう

どうだ?  
気持ちいいだろ

ちゅる

ん……すごい……

うっは

ちゅる

うっは

ちゅる

うっは

ああもう!

う

んっ

やあ

だめだって

ちゅる

うっは

うっは



えっ!

ちょッ!  
なにしてんのお

ひああっ

ここを使うんだろ  
お前は男だし

いやっそうだけど  
怖いって...

前絞っという  
やるから

ゆっくりほぐすぞ

痛いかな?

痛くない...  
どころか

ゆっくり中に入って  
広がってるの...

人間にできないよね  
こんなの...

気持ちよく  
なってきたか?

ああ

はっ

はあ

うん



んあ：  
それ、入れるの？

もっとよく  
してやりたい

ちゅぽ

ちゅぽ



ふえ

康緒

かわいいな

うええ

くっ



うんんっ！

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

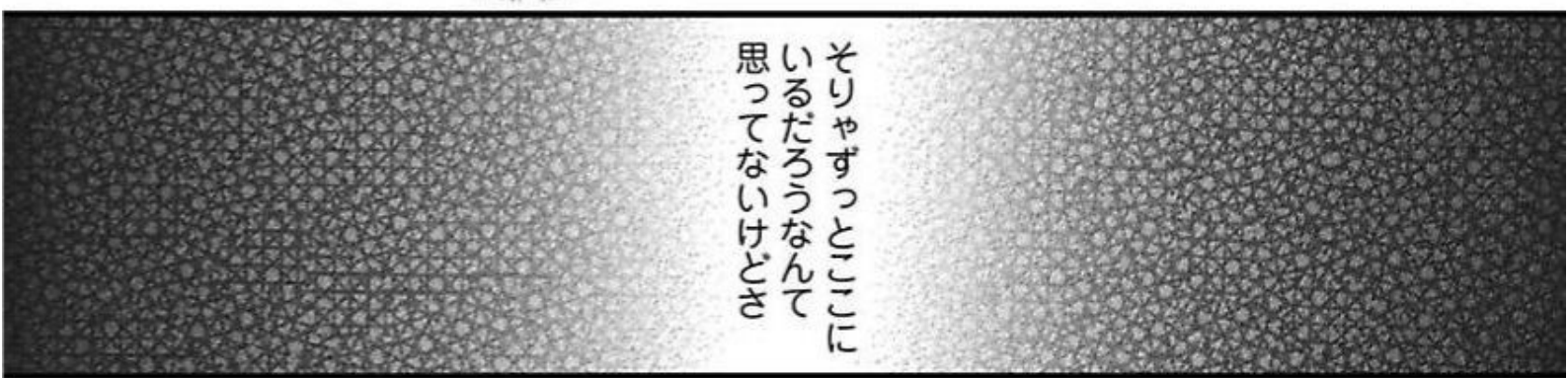






本来の姿でお前と  
交わりたかったな

なにその言い方  
これで終わり  
みたいじゃないか



そりやずっとここに  
いるだろうなんて  
思ってたないけどさ



何も言わないで  
いなくなるこ  
とないだろバカ



1104



よかったら  
案内してもらいたい  
のですが…

ああ



すみません  
駅はどこでしょうか

こっちに来た  
ばかりでよく  
わからなくて

はい



あのー…



いいですよ  
じゃ一緒に

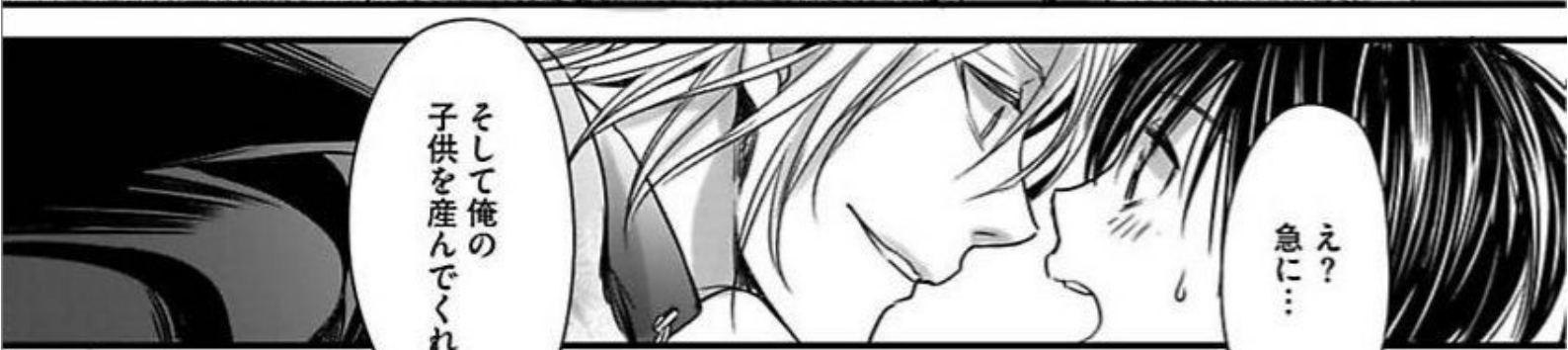
他の男のモノに  
なるつもりなのか？



*Please don't use  
without permission  
OmiBoku*



行こうぜ康緒！  
俺の世界に！



そして俺の  
子供を産んでくれ

え？  
急に…



スッスッスッスッスッ  
!?

離してよ！

なんだ勝手に  
いなくなつたーとか  
へそ曲げたのか？

違うってば！  
そんななんとも  
おもってないからね！

お前にこの姿を  
見せたかったんだ  
本当の俺だぞ

いいんじゃない！

どうだ？  
お前の好みに  
合うかな？

END

Please don't use  
without permission  
OniBoku

A decorative border with intricate, symmetrical floral and scrollwork patterns in a light gray color, framing the central text.

The Bride Of  
Another World





*Red tying*

# 赤色の縛り

*Please don't use  
without permission*

*OniBoku*



たかひろ  
孝広  
ちよっとこれ  
聞いてみてよ



ビジュアル系?  
ロック?  
わかんないけど  
ギャンギャンうるさい

そーなんだけど  
かっこいんだって  
最後まで見てよ



えーなに  
怖いやつ?

違う違う  
昨日動画サイトで  
かっこいいMV見つけ  
ただけどさあ

俺もさつき見せ  
られたんだけど  
曲もよかったよ

へえ



あ、声はいいね  
メロディもよく  
なってきた



えー  
吸血鬼ー？

なにそれー  
おじさん面白いね

自分のことを吸血鬼だー  
とかいう変な人だった  
僕よりもずっと年上の  
男の人

いやいや本当だって  
俺本物の吸血鬼だからね  
っていうかさー

おじさんってさあー  
まあ実際おじいちゃん  
かもしれないけど  
傷つくー

名前で呼んでよ  
レオンっていうの

レオンさん…

はどうして  
僕に話しかけて  
きたの？

吸血鬼っていうと  
ボクの血を吸いたい  
ってこと？

んーいや  
君を餌にするつもり  
はないよ

そうじゃなくて  
気に入ったんだ

？

だからね



俺の仲間になって  
欲しいんだ

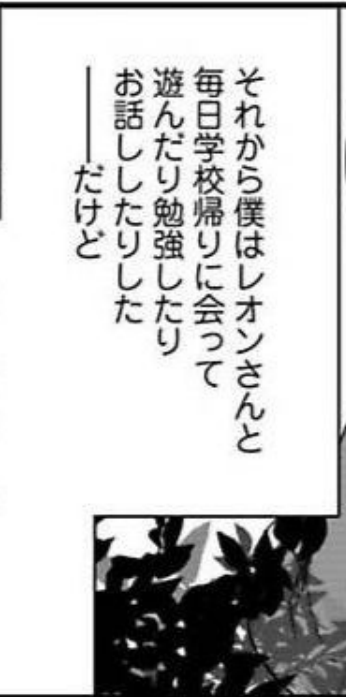
吸血鬼になって  
一緒に長生きしよう



え？ 僕ドラキュラ  
になれるの？

かっこいい！  
どうやるの？

あーでも今すぐ  
じゃないよ もう少し  
大きくなったらね



それから僕はレオンさんと  
毎日学校帰りに会って  
遊んだり勉強したり  
お話ししたりした  
——— だけど

母さんに知られて  
怒られちゃったんだ  
警察に通報するって  
騒ぎになっちゃったから



それまで傍で君のこと  
見守ってていい？

うんっ！  
じゃあ友達だね！



：あのね  
10年たったら僕も  
結婚できる年齢に  
なるんだ：

そしたら大人って  
事だよだから



ごめんね  
もう会えない

そうか



10年たったなら  
また会ってくれる？



孝広に会いに行く

うん



あれからもう  
10年たった



おいなり公園



この公園…  
小学校出てから  
来てないや

懐かしいなあ



まさか…ね

だってあんなこと  
真実なわけ—



ん—  
思ったとおり  
美人に育ったなあ  
孝広!



再会の場所が  
思い出の公園なんて  
ロマンティックう

孝広!

どッ

え...あっ

たまくに遠くから  
見てたけど近寄ら  
なかったからな

会いたかったぜえ  
ずいっとお前のこと  
ばかり考えてた!

うそ

キィッ  
キィッ

なんで本当に  
会いに来るんだよお

10年間  
僕は悩んだぞ

レオンさんと  
別れてから  
しばらくは

いつか会える  
んだから  
淋しくないもん

吸血鬼？

でも忘れられ  
なかったから

好き…だったよ

ちょっと待て  
あれってただの  
シヨタコンおじさん  
だったんじゃない？

僕危なかった？

だけどよく考えて  
みるとあり得ない  
話だし…

でもあれは僕が男性を  
好きになる質だという  
事を気づかせるための  
幻だったのでは？

近頃では  
レオンさんは概念  
って事で納得  
させてたんだ

10年経っても何も  
起こるはずないって  
自分の中で決着  
つけられたのに

さあ約束だ  
仲間になって  
共に生きよう！

嫌だ！

い…

まぼろしのままに  
しておいてよ！

逃げんの？  
待ってよ！

えっ

てっ

てっ



ふう

もう…なんなん  
だよホントに  
訳わかんないよ



近くで見ても昔と  
変わってなかったなあ

吸血鬼って本当  
なのか…?

はあ



は

は

タッ

タッ

タッ



見つけた!

ひゃあ!!

も~~~~っ  
俺から逃げられると  
思わないよな！

っっていうか  
逃げてどうすんの？

なんの考えもなしに  
走っただろー！

詰めが甘いなあ  
衝動的っていうか  
変わってないねえ

う  
うるさいな

10年間悩んで  
やっと落とし所  
見つけたんだから  
そんな今更  
受け入れられるわけ  
ないんだよ

なんだよ落とし所って  
勝手に落とすなよなあ

とっ  
とにかく！  
混乱させないでよね

まあいいや  
時間はたっぷりあるし  
ゆっくりカン取り戻して

それまで  
傍で見えますっ  
付きまとうぞー

は？





こんなの迷惑な  
はずなのに

ほんつとくに  
付きまといってくるんだ  
もんなあ昼夜問わず

バイト先でも

家の前まで

学校でも



嫌じゃないって  
いうか…  
むしろ…



よしっ！

べ、別にそんなんじゃ  
ちよっとした好奇心  
っていうか…

気になる？

僕と別れた後  
どこ行ってんの  
家あるの？

じゃまた明日な

あ、あのさ

んーあるよお一応



きっと薫<sup>つた</sup>だらけの  
不気味な洋館で

仲間の吸血鬼と  
従者の蝙蝠

寢床はもちろん  
棺<sup>ひつぎ</sup>でしょー

アンティークのカップで  
紅茶を飲む優雅な  
ゴシックスタイル？

うわ…映画みたい  
楽しみかも…!



今から俺の家に  
招待しようお姫様  
紅茶を淹<sup>い</sup>れてしんぜよう

う…うんっ

吸血鬼の屋敷…



ありがと…



ほい

熱いから  
気を付けてねー





俺はねー  
何年も一人で  
生きてきたんだ  
群れたことはないよ

孤独主義ってんじゃないけど自由に  
生きたいからさ

面倒でしょ  
他人なんて足枷  
でしかない



今の俺は孝広を  
仲間にして何百年も  
ふたりで生きるのが  
望み



そう…なんだ

だからさー  
初めてだよ  
誰かといいたい  
と思ったのは



愛？ 恋？ ってやつ？

初めてのことで  
わかんないけどー



な…  
なんで僕なの？

ん？ なんでだろ  
ガキの頃のお前見て  
そう思ったんだもん



愛…恋って  
なんだよそれ？

さみし…かった？



さみし…  
くはないけど

孝広に会えない10年間は  
長く感じたかもなあ  
たったの10年なのに



長い間仲間も作らず  
自由に生きてきた  
男が選んだのが  
僕…？



そ…  
う…なんだ

そんな風に思われる  
なんてすごい事じゃない？  
この先残りの人生で  
そこまで誰かに愛される  
なんてあるのかな？

これがたった一つの  
愛ならば…

たかが十数年しか  
生きてきてない  
僕の人生を  
この人にあげても  
いいんじゃないのでは  
ないだろうか

いいよ



え?



僕の血…

飲んでいいよ



仲間にするには  
血を飲むんじゃないの?

え? でも  
いいのか?

お別れとか  
親とか友達とか

後でも  
できるでしょ

ああ…うん



Please don't use  
without permission  
OniBoku







ははっ  
牙出てきた



血を飲まれると  
気持ちよくなっちゃうでしょ



急に…体

あっ、め、

なに…  
あれえ？

あっ

す  
る  
ゼン

あ、あ、あ、

びゅく  
びゅく  
びゅく  
びゅく  
びゅく  
びゅく

んああ、



もっとよくなるうね

とろ  
とろ

とろ  
とろ

ぐり  
ぐり

あ

あ





あっ

ああ  
レオンさん

そこっなに  
いやだ

変になっちゃう  
から

いっちゃ...  
いく...



いい子

変になっちゃえ



うん...

うんっ!





どったの孝広

んーもう同年代の  
若者の話題について  
いけなくてさあー  
年取ったーって気分

はー



同年代って  
おじいちゃん?

ちがうっ!  
見た目ってこと!

あーそれは  
無理そうだなあ

そうなんだよ  
友達作るのも  
大変ー



さみしい?

ぜんぜんっ!

END

Please don't use  
without permission  
OniBoku



# ぼくらの青春



黒沢昂介とは  
くろさわこうすけ  
高校に入ってから  
知り合った

同じクラス同じ部活  
同じ路線の二つ違いの駅  
帰りもいつも一緒

第一印象は  
大人しそうな  
お坊っちゃん

三年引退したから  
これでレギュラー  
狙えるな昂介

稲荷前公園



練習だったら  
付き合うぜ



おうっ

なま  
大成と試合  
出たいしね



どうかなあ  
でも頑張るよ



ありがとう

昂介の笑顔が  
好きだ







昂介の髪の毛  
いい匂いがすんのな

なんかさ

ドキ  
ドキ



ふわ



そんなことないよ  
汗臭いだろー

練習後でも  
汗臭くないし  
サラサラだし

すっ



いや…まじで  
いい匂いがする

ドキ  
ドキ



ドキ



大…成？



ちゅ



言い訳  
できないだろ！

勢いで  
男友達にキス  
するやつが  
どこにいたよ

ト  
ト  
ト  
ト  
ト



あつ  
ごめん

何やってんだ俺！

ト  
ト  
ト





僕もレギュラーに  
なれるように  
頑張らなきゃ  
いけないしね



あ…ああ  
そうだなっ

そのかわり



IHで優勝  
するんだって言って  
たじゃないか



大成は才能  
あるんだから  
部活に専念  
しなきゃ





覚悟しとけよ  
昂介!

うん!



よしっ

その言葉覚えておけよ  
俺、まじでチームを  
優勝に導いてやるからな!



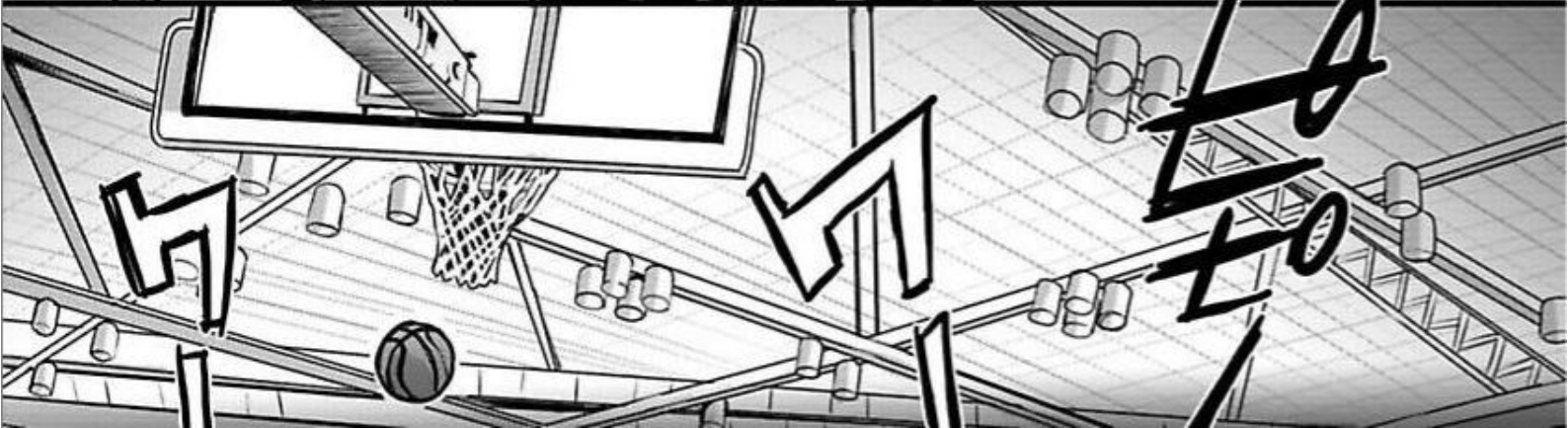
この時の会話が  
俺の残りの学生生活の  
明確な指針に  
なったように

あ、でも  
手くらはは  
繋いでもいいだろ

えー  
どうしよっかな



一年間  
ガムシヤラに  
練習に励んだ





本当に優勝  
できるとは  
思わなかった

夢  
かなったね

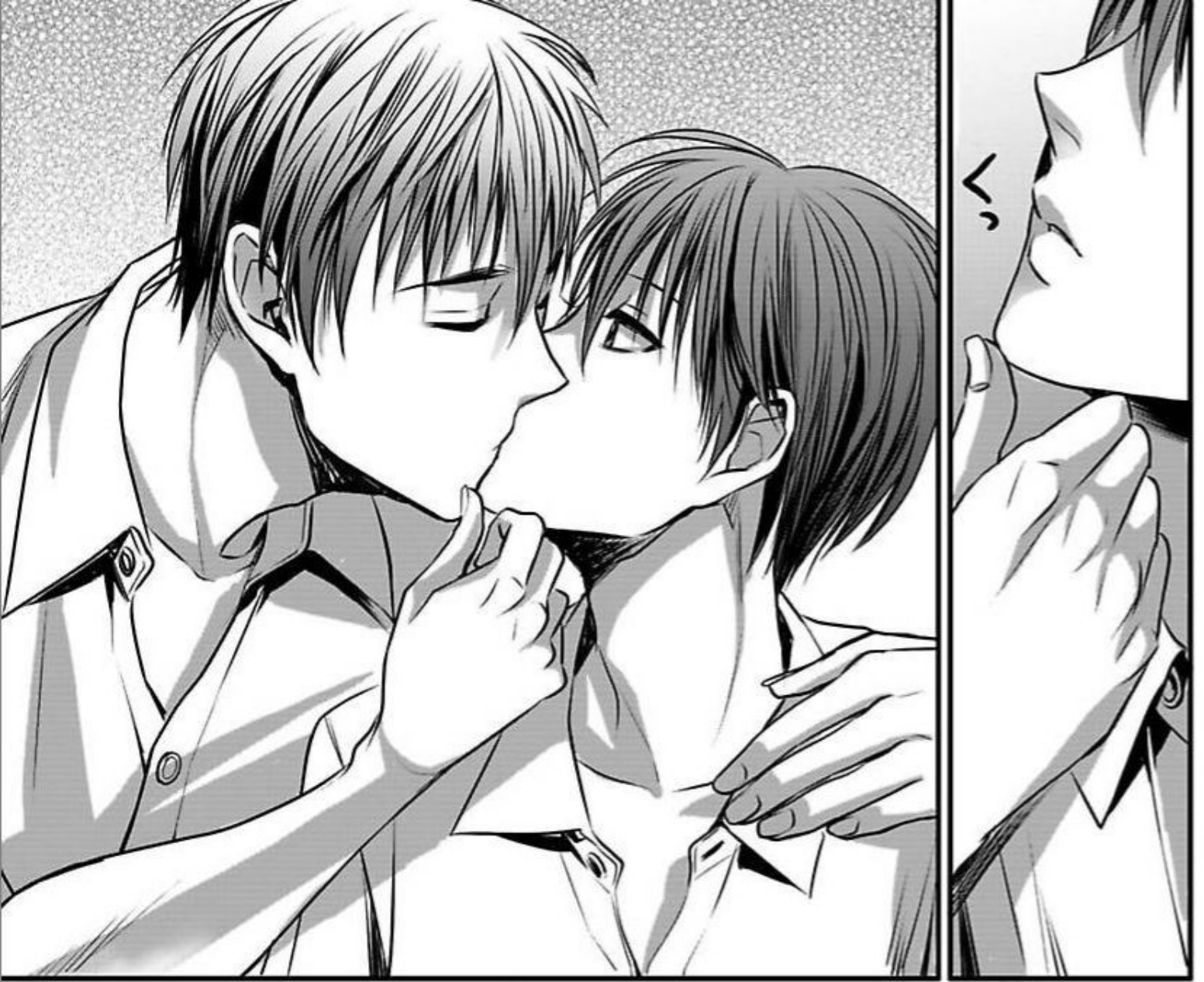
皆の  
力だろ

もちろん  
昂介も...な

僕は君が  
誇らしいよ

うん  
すごく楽しかった







好きだぜ昂介

俺と恋人同士になつてくれるか？



いっぱいキスするんだよね

その前に大事な事言つてないんだよ



大好き！

君は本当にかっこいいなあ

もうっ

キゅ



キスするぞ

うん



昂介!

だってかわいいすぎ  
るんだよお前

ぎゅっとしすぎ  
苦しいよ

ギュッパハハ



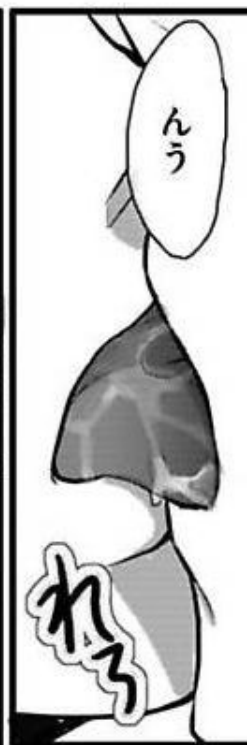
気持ちいい  
もっとしていい?

うん



んっ…

ちゅ





大成

昂介…



!



キス気持ち  
よくて…  
僕も…

ねえ  
触って  
くれる？



ふみ

もみ



布越しでも  
大きくなってる  
のがわかる

勃起してるの  
見たい

俺のキスで  
反応した  
んだよな

直接触って  
もいいか？

いいよ…  
僕にも見せて  
くれるよね









でも  
止められそう  
がない...

ごめんな  
痛いよな

奥まで入った  
すごい

う...あ







A decorative border with intricate, symmetrical floral and scrollwork patterns in a light gray color, framing the central text.

The Bride Of  
Another World





キスの演習



実は昨日…

隼人<sup>はやと</sup>…  
聞いてくれるか



は？

初めて合コンに  
行ったんだ



今日直接  
会って報告  
したかった  
んだよ



ごめんごめん  
昨日急に  
言われてさー

聞いてない



……

なんだよお  
そんな顔  
するなよなー

小学生の時から  
好きな相手に  
合コン行ってきた  
なんて言われたら  
そりゃッこんな顔  
になるだろ

苦しい痛い  
もやもやする  
憎らしい  
くそッ卓己め

ごめんごめん  
それで？

女子大の子達  
だったんだけどさ  
すごくかわいい子が  
いたんだ連絡先も  
交換した

へえ  
よかったな

うまくいくと  
いいな…

うーん  
まあ…ねえ

それで思ったんだ  
今まで誰とも  
付き合った経験  
ないからさ

キスとかそういうの  
うまくできるか  
…不安になったんだ



あー  
高校の時もっと  
経験しておけば  
よかったー

隼人も思うだろ  
経験しとけば  
よかったなーって



さあどうかな  
卓己よりは詳しい  
と思うけど

は？  
嘘だー  
お前彼女  
いなかっただろ



そいつらとの  
それがまあ…  
そうなんだよ

大体いつも  
俺と一緒にだった  
じゃないか

たまに先輩とか  
後輩とか男と  
帰ってたくらい  
じゃないか

自信持ちたいなら  
練習したらいい  
んじゃないか？











もしかして  
シチュエーションで  
勝負するつもり  
なのか？

こういうのダメ？

こんなの体も  
たないかも

まあ…  
卓己がいいと  
思うならいいん  
じゃない？

俺には効果てき面  
だけど









明日あの子と  
デートするんだろ？





うまくいくと  
いいな



告白するんだろ

うん



俺どうしたらいい？  
もう彼女のことなんて  
どうでもよく  
なってるんだけど

隼人のせいだぞ！  
お前のことしか  
考えられないんだ

は？



隼人は…  
それでいいのかなよ

え？



隼人のことが!

だから!  
好きになっちゃ  
ったんだよ俺!



好き?

うん…

……  
なんだよそれ

なんだよそれって  
そんな言い方  
おい隼人…っ



トッ



え...

隼人!?

俺なんかなあ  
ずっと...ずーっと  
前から好きなんだぞ!

じゃあ...  
両想いってこと??



...だな!



俺も

うわ  
嬉しい



わっなに!?



え...?  
まじで?

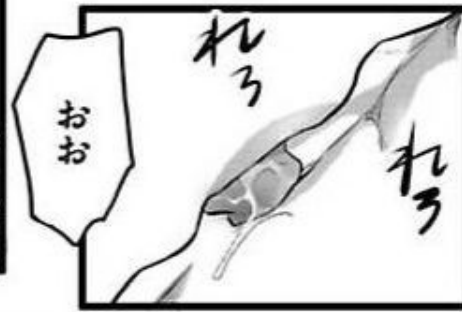


隼人!?

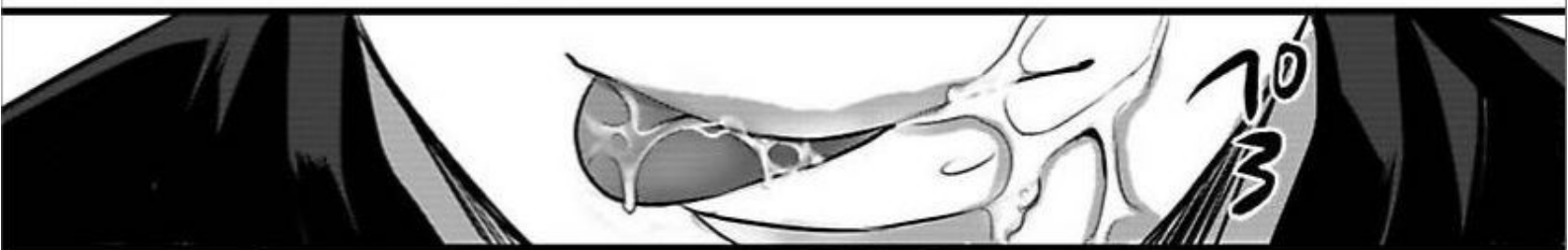
そうと決まったら  
我慢すること  
ないなと思って



キスだけじゃなくて  
俺がもっといろいろ  
教えてやるよ















うん

あ...やばい...  
卓己はアタクニックが  
上種してるさあ



そういうことじゃ

いいじゃん俺達  
恋人同士だし



しつこいっ!  
人が見てるだろ



んっ...

END

すんぽろ  
おせらなつこまの

す

The page features decorative floral scrollwork in a light gray color, framing the central text. The scrollwork consists of elegant, swirling lines that form leaf-like and vine-like patterns, extending from the left and right sides towards the center.

The Bride Of  
Another World





# 描き下ろし おまけまんが







住処はあ  
狭い方が楽しいって  
気づいたわけだよ

キゅ

んん??



だってソラと  
いつでもべったり  
くっついて  
いられるだろ



まだまだこっちで  
いっぱい楽しもうぜえ♥

はいはい

うりゃん

オワリ



♡♡



ちゅ♡

NYAN  
NYAN  
NYAN



お買上げありがとうございます  
ニゲました! 宮下キリネ  
くす 角巻の夕も準備してましたなま

異世界の花嫁  
(GUSHmaniaEX 特集:花嫁)

見つめる先に  
(GUSHpit 特集:乱交・複数プレイ)

ぶるぶるふるえるフィーリング  
(GUSHpit 特集:ナマ出し)

赤色の縛り  
(GUSHmaniaEX 特集:10年愛)

ぼくらの青春  
(GUSHpit 特集:DK)

キスの演習  
(GUSHmaniaEX 特集:キス・舌技)

おまけまんが  
(描き下ろし)

- ◆宮下キツネ先生へのご感想・ファンレターは  
〒102-8405東京都千代田区一番町29-6 (株)海王社 GUSH編集部気付でお送り下さい。  
▽こちらからもご感想をお送り頂けます。  
<http://www.gushnet.jp/contact/>



## 異世界の花嫁

2017年9月20日初版第一刷発行

著者 みやした **宮下キツネ** ©KITSUNE MIYASHITA 2017

発行人 **角谷 治**

発行所 **株式会社 海王社**

〒102-8405 東京都千代田区一番町29-6  
TEL.03(3222)5119 (編集部) TEL.03(3222)3744 (出版営業部)  
[www.kaiohsha.com](http://www.kaiohsha.com)

印刷 **図書印刷株式会社**

ISBN978-4-7964-1058-8

本書の無断転載・複写・上演・放送を禁じます。また、本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても、著作権法上認められておりません。本書の掲載作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。



KAIOHSHA COMICS

# 異世界の花嫁

お買上げありがとうございます！  
お礼です

電子限定かきおろし漫画

ケーキだよー！



わー  
すごいー！

家族になって  
一周年です♥

わあーっ  
わあーい！



ええっ！  
見たかったー！

いやいやこっちの  
姿でやったからね

お田んぼ  
ほめよー

めっちゃ  
お祝いしました☆

ソラを思って  
俺が作ったんだー  
すごいでしょっ！



# 「迎えに来たぜ ソラ♡」

ハタチの誕生日、両親を亡くして天涯孤独の

ソラの前に謎の青年が現れる。彼は、

ソラが10歳のとき命を

救った異界の生物・ハチだった。

ソラを嫁にするため成長を

10年間待っていたというハチは、



どんなにつきはなしても

毎日しつこくプロポーズを

してきて——!?

触手を持つ異界の生物×孤独な青年の異種間ラブ♡

*The Bride Of Another World.*

*presented by Kitsune Miyashita*